

# VESSELVIEW 502

**重要：**本書は、ディーラー、ビルダー、法人サービス担当による本製品の適切な取り付けまたは点検整備をガイドするためものです。本製品または同類の Mercury Marine 製品向けの推奨の点検整備手順または取り付け手順についてトレーニングを受けたことがない場合は、Mercury Marine の正規代理店整備士による作業を依頼する必要があります。Mercury 製品の取り付けや点検整備に不備があると、本製品が損傷したり、本製品の取付作業者または利用者がけがをしたりする原因になります。適切な Mercury Marine サービスマニュアルに記載されている部品の取り外し、取り付け手順を必ず参照してください。

**注意：**取り付け完了後は、所有者が将来役立てられるよう、これらの手順を本製品に添えてください。

数量	説明
1	VesselView 502
1	NMEA® ハーネス
1	NMEA® T 字コネクタ
1	テンプレート
1	VesselView 502 クイックガイド

## 計器パネルのカッティング

### 取り付け位置の準備

- ボートの計器パネルで、適切な VesselView 位置を決めます。

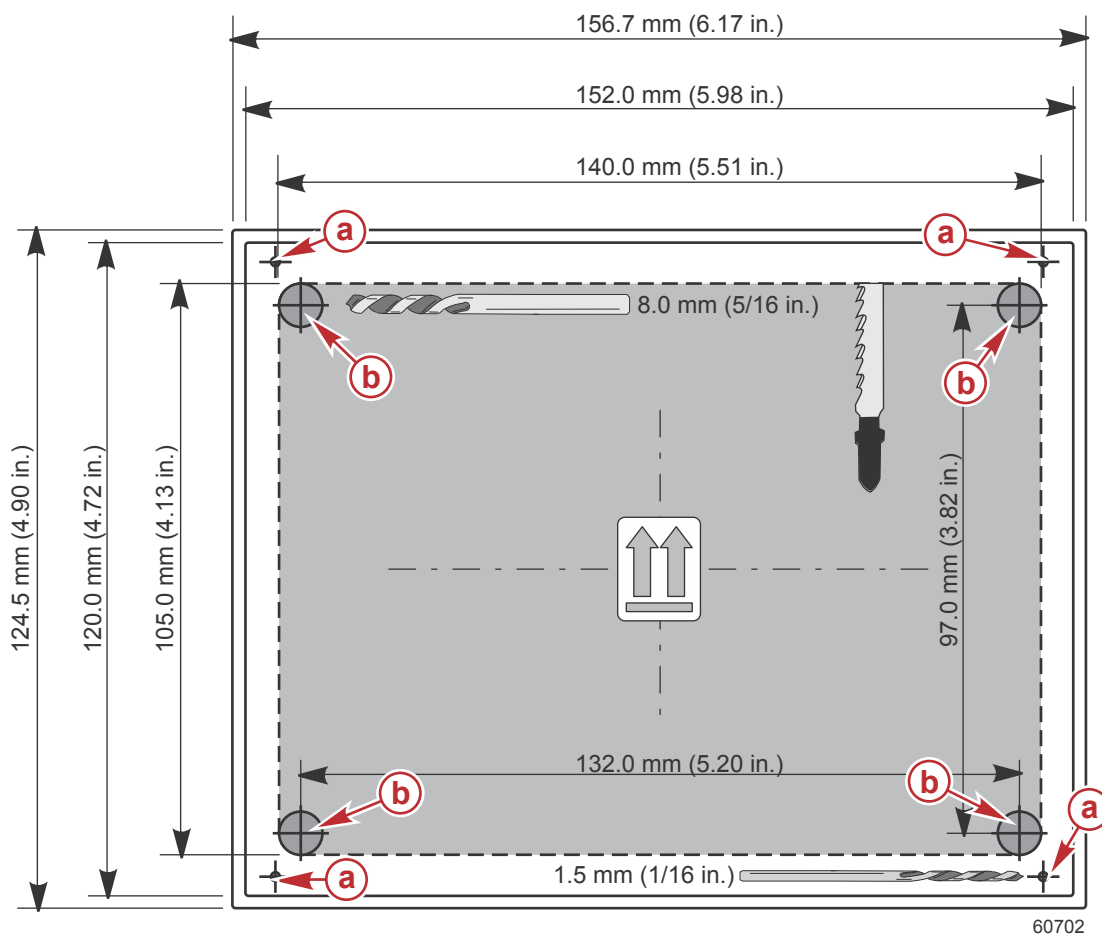
**注意：**パネルの背面エリアには、取り付けの妨げとなるケーブル、ワイヤー、その他のハードウェアがないことを確認してください。取り付け位置は、ボート操縦者の位置から、よく見えるところにする必要があります。
- バッテリーを電源とするゲージまたは SmartCraft コンポーネントの接続を外します。
- 提供されてるテンプレートを切り抜きます。

**注意：**穴をあける前に、テンプレートの切り抜きが VesselView の取り付け穴に合うことを必ず確認してください。
- テンプレートを使用して、取り付けに必要なスペースを決めます。
- 次の手順に従い、取り付け位置の表面を下準備します。
  - ファイバーグラスパネル：**ファイバーグラスのひび割れを防止するために、カットする部分にマスキングテープを貼ります。
  - ビニールカバー式パネル：**ビニールが破けないように、かみそり刃を使用して、カットする部分からビニールを丁寧に取り外します。

### パネルのカッティング

- カットするエリアの下準備が整ったら、テンプレートをパネルにテープで固定します。
- テンプレートにある 4 か所の取付ねじの位置に 1.5 mm (1/16 in.) の穴をあけます。
- テンプレートにある 4 か所の取付ねじの位置に 8.0 mm (5/16 in.) の穴をあけ、テンプレートの陰影部分を切り抜きます。
- テンプレートの陰影部分を切り抜くには、適切な鋸（のこぎり）を使用してください。

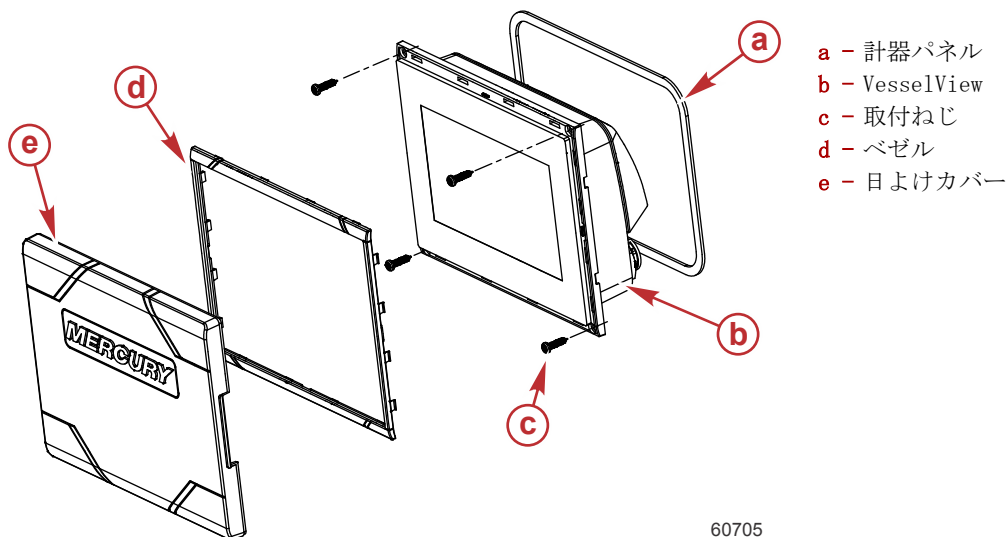
注意： 下図は、あくまでも参考例です。キット付属のテンプレートを使用してください。



- a - 取付ねじ穴 (1.5 mm [1/16 in.])
- b - 切り抜きのパイロット穴 (8.0 mm [5/16 in.])

5. テンプレートを取り外し、VesselView をパネルに挿入し、フィットすることを確認します。この時点ではまだ、パネルに固定しないでください。

## VesselView を計器パネルに固定する



1. VesselView を開口部に挿入します。
2. 適切なサイズの 4 本の取付ねじで VesselView を固定します。2.38 mm (3/32 in.) で、ヘッド直径が 5.6 mm (7/32 in.) 以下のものを使用します。ねじは締め付け過ぎないでください。
3. ベゼルの VesselView に取り付けます。

**重要：** 取り付け後、VesselView 502 の接続ポートの一部には、アクセスしづらくなる場合がありますが、ソフトウェアアップデートは内蔵の Wi-Fi モジュール経由で VesselView に配信されるため、今後のソフトウェアアップデートの妨げにはなりません。

## DTS 配線のガイドライン

### ▲ 警告

スプライシングやブローピングを行うと、電線の絶縁体が損傷し、水が配線に侵入する可能性があります。水の侵入は、配線の故障やスロットル/シフトの制御不能につながるおそれがあります。ボートの制御不能による重症や死亡事故の可能性を防ぐために、DTS システムの配線絶縁のスプライシングやブローピングは行わないでください。

- ・ DTS 配線ハーネスからの電源電圧または電流を接続したり、ネットワークにつないだり、縛り付けたり、スイッチにしたり、沈めたりしないでください。
- ・ いかなる種類の通信機器またはナビゲーション機器も、指定された接続ポイント以外で DTS 配線ハーネスに接続してはなりません。
- ・ 必ず、ヒューズ盤や接続箱などの適切な電源接続を使用して、ボートのアクセサリ装置を設置してください。
- ・ 電源を取るためにいかなる DTS 電気配線ハーネスにも直接接続しないでください。

## 電気ボート アクセサリの配線ガイドライン

### ▲ 警告

過度の電圧降下は、DTS システムを損ない、スロットルやシフトの制御不能による重症や死亡事故につながる可能性があります。DTS システムの 12 V イグニッション キー スイッチ回路には、いかなる電気アクセサリも配線しないでください。

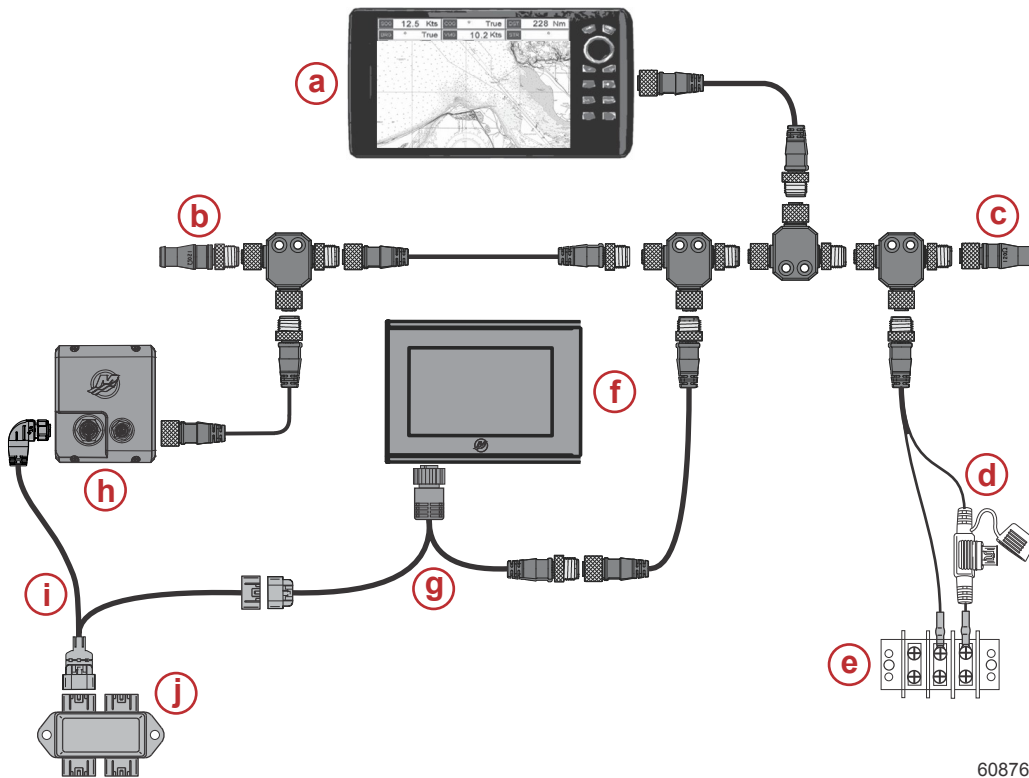
**重要：** イグニッション キー スイッチに、ボートのアクセサリを接続しないでください。ボートのアクセサリを配線する際には、別のスイッチ型の 12 V 電源を使用してください。

**重要：** DTS システムは、一貫性のある 12 V 電源を必要とします。12 V またはイグニッション キー スイッチの DTS 回路（紫色、紫色/白色、または赤色のワイヤ）にアクセサリを接合したり接続すると、ヒューズが飛んだり回路に過負荷がかかり、動作が一時的または完全に停止する可能性があります。

## ハーネス設置のガイドライン

- ・ ハーネスの接続を設置ポイントに配線する適切な経路を見つけてください。
- ・ 配線経路の表面に、ハーネスを切断する可能性のある鋭利な端部や、ばりがないかどうかを检查してください。
- ・ ハーネスを配線経路に沿って、45.8 cm（18 インチ）ごとにクランプまたはケーブル タイで固定および支持してください。DTS システム内のすべての接続について、25.4 cm（10 インチ）の範囲内で、クランプまたはケーブル タイを使用する必要があります。
- ・ すべての接続がしっかりと固定されていることを確認してください。未使用のコネクタはすべてウェザー キャップで密封してください。

## VesselView 502 の接続



60876

## 標準 NMEA® 通信接続

- a - チャートプロッターまたはマルチファンクション ディスプレイ
- b - 120 Ω 終端抵抗、オス
- c - 120 Ω 終端抵抗、メス
- d - NMEA® 2000 ヒューズ付き電源
- e - 電力バス
- f - VesselView 502
- g - VesselView 502 ハーネス
- h - VesselView Link コントローラー
- i - VesselView Link ハーネス
- j - 接続箱

Products of Mercury  
Marine

W6250 Pioneer Road  
Fond du Lac, WI 54936-1939

Alpha, Axis, Bravo One, Bravo Two, Bravo Three, 波形ロゴの付いた円形の M, K-planes, Mariner, MerCathode, MerCruiser, Mercury, 波形ロゴの付いた Mercury, Mercury Marine, Mercury Precision Parts, Mercury Propellers, Mercury Racing, MotorGuide, OptiMax, Quicksilver, SeaCore, Skyhook, SmartCraft, Sport-Jet, Verado, VesselView, Zero Effort, Zeus, #1 On the Water, および We're Driven to Win はすべて Brunswick Corporation の登録商標です。Pro XS は Brunswick Corporation の商標です。Mercury Product Protection は、Brunswick Corporation の登録サービスマークです。